



身体障害者の病態運動を再現するシミュレーション教育用ロボットを用いたリハビリテーション臨床技能教育プログラムの開発

作業療法学科

小池 祐士 助教

【研究分野】 ロボティクスリハビリテーション、地域支援、教育、福祉用具、3Dプリンタ
 【キーワード】 ロボティクスリハビリテーション、教育、ロボット、シミュレーション
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=189koi>



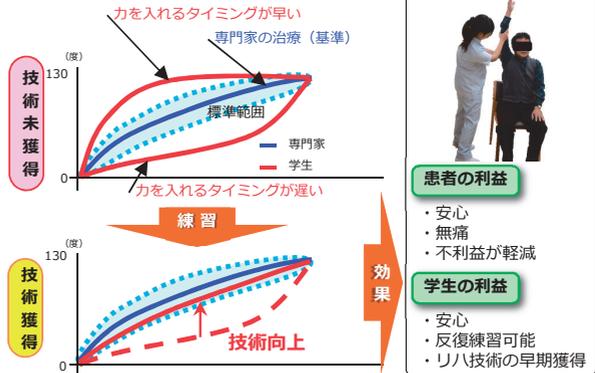
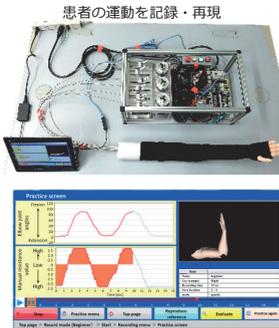
研究概要

作業療法士などのリハビリテーション専門職におけるこれまでの学生教育や新人教育において、「見て学ぶ」から「学生や新人の知識や技術に合わせた指導」へと変化してきています。その教育方法の一つとして近年注目されているのが、**ロボットを活用したシミュレーション教育**です。これは、医学分野などにおいて既に取り入れられており、効果が示されています。そこで、リハビリテーション分野においてもその教育方法が有効である可能性があるため、リハビリテーション技術を視覚的に提示できるロボットを開発し、そのロボットを活用したシミュレーション教育の効果検証に関する研究を行っています。

研究紹介

①シミュレーション教育用ロボット>
(特許6307210号)

②ロボットを用いた教育効果



患者・学生の相互に利益

講座テーマ紹介

- ◆ シミュレーションロボットを用いた教育効果に関連した講座
- ◆ 学生指導や新人教育、後輩育成など、教育に関連した講座 など

アピールポイントなど

- ◆ 特許第6307210号：病態解析装置とそれを用いたリハビリテーション技術教育装置
- ◆ 特許第6372882号：紐引き股割れパンツー脳卒中片麻痺者用ー
- ◆ 認定作業療法士、介護支援専門員、福祉用具プランナー、キャラバンメイト、臨床実習指導認定者、埼玉県高齢者元気力アップ応援事業所認証事業講師